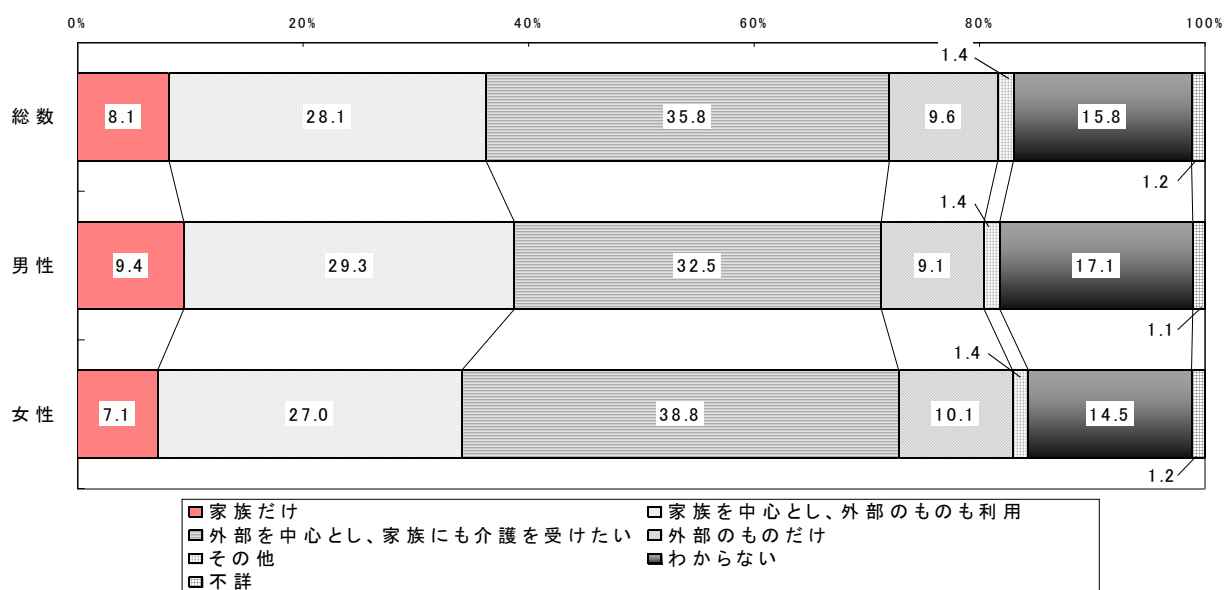


## 10 自宅で介護される場合の状況

・家族とホームヘルパーなどの外部の者からの介護を受けたい者が約6割

年をとって介護が必要となり、自宅で介護を受ける場合については、家族とホームヘルパーなどの外部の者からの介護を受けたい者が約6割を占めており、その内訳は「ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい」とする者が35.8%、「家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい」が28.1%となっている。

図19 自宅で介護されるとした場合、どのような介護をされたいか



年齢階級別にみると、若い世代においては「外部を中心とし、家族にも介護を受けたい」の割合が多くなっているのに対し、高年齢層では「家族を中心とし、外部のものも利用」の割合が多くなっている。

図 20 年齢階級別にみた自宅で介護されるとした場合、どのような介護をされたいか

